

プログラム第一弾のイベントがスタートします。

共同企画パートナー **PLUGANDPLAY JAPAN**

第1弾 オープニングイベント **DAIDO LIVE!**

サステナビリティ経営の必要性の解説や、実践をサポートする技術やサービスのご紹介

イベント内容

- ソリューション企業プレゼンテーション
中小企業が取り組める先進技術を、ソリューション企業が紹介。

サステナビリティ経営で取り組む5つの課題

気候変動
 資源枯渇・廃棄物問題
 水質汚濁・水不足
 生態系の破壊
 人権問題

決定! プレゼンテーション企業 ※当日はさらなるソリューション企業のプレゼンテーションも実施予定です。

Biomass Resin (Minami Uonuma) 食用に適さない古米やくず米など、廃棄されてしまうお米が由来のバイオマスプラスチック「ライスレジン」

TAKANO 水の使用量を最大95%削減する極限節水ノズル。節水に気づかない使用感でありながら、水道料金とガス料金を激減。

※上記企業に加えて、ソリューションの提供が可能な企業を募集します。応募方法は、支社・担当者へお問い合わせください。

- キーノートスピーチ
「中小企業がサステナビリティ経営に取り組む意義」をわかりやすく解説。

夫馬賢治氏 / サステナビリティ戦略・ESG投資専門家【(株)ニューラル CEO】
略歴
 環境省「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」選定委員。農水省、厚労省でのESG関連の委員。
 『データでわかる2030年地球のすがた』他著書多数。

日時

11月4日(木) 15:00-16:30

配信方法

無料視聴 ライブ配信 (Zoomビデオウェビナー)

※視聴は無料です。ただし、通信により発生する費用は参加者のご負担となります。

申込 / 参加方法

参加のお申し込みはこちらのコードを読み取りいただくか、以下のURLをお願いします。
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_tBmF6dH_SFC4anQy1vQCGA

※パソコン・スマートフォン・タブレットよりアクセス・視聴いただけます。
 ※お申込登録完了メールは「no-reply@zoom.us」のアドレスからお届けします。

お問い合わせ先 大同生命ウェビナー運営事務局：adm-dpt@daido-life.co.jp



大同生命

サステナビリティ経営支援プログラム

DAIDO Sustainability INITIATIVE

持続的な成長を達成するためのヒント。

SDGs への取り組みに向けて、半年間にわたり
 ソリューションの紹介から、活用まで一貫して**サポート**します

PHASE 1

サステナ経営のご紹介
 有識者による解説や、ソリューション企業のプレゼン

PHASE 2

実践方法のご案内
 ソリューションを提供する全ての企業をご紹介

PHASE 3

活用サポート
 ソリューション活用に向けたワークショップを複数回開催

PHASE 4

事例共有
 参加者による実践・協業事例の共有

11/4(木)

12月中旬

1月~2月

3月初旬

第1弾オンラインイベント

第2弾オンラインイベント

オンラインワークショップ

第3弾オンラインイベント

サステナビリティ経営支援プログラム

DAIDO Sustainability INITIATIVE

「環境・社会」と「利益」の両立のための

これからのサステナビリティ経営

中小企業において「サステナビリティ経営」の必要性が高まる時代へ突入しました。環境・社会・経済における課題に応えながら、事業の持続的成長を目指しませんか。

サステナビリティ経営って何？

政府によるカーボンニュートラル目標宣言など、社会・経済が、「環境志向」に転換しつつあります。「サステナビリティ経営」は、様々な社会課題の解決を通じ、長期的な事業継続を目指すものです。

サステナビリティ経営 = 環境・社会への配慮により、事業の持続可能性を図る経営

① 社会要請への対応

(例) CO2排出量の削減

② 社会課題の解決

(例) 商品の脱プラ化

③ 社会価値の創造

(例) サステナブルをテーマにした新規事業

サステナビリティ経営に取り組む必要性とは

SDGs(持続可能な開発目標)の採択以降、ステークホルダーから求められる水準は高まりつつあります。将来、様々な問題が生じてくる可能性がありますので、**早期の導入**をオススメします。

サステナビリティ経営に対する多様な状況と影響



6割が環境配慮型商品に興味

「環境に配慮した消費に興味がある」と答えた人が増加する等、消費者の関心が高まっています。^{※1}



大手企業による協力要請

大企業の脱炭素経営推進の取り組みは、グループ企業や取引企業にまで及び始めています。



6割が働きがいに社会貢献を重視

就職希望者の6割が、企業の社会貢献度を重視すると回答しています。^{※2}



SDGs取組みの融資条件への反映

多くの金融機関がSDGsに取り組む企業に有利な金融商品を発表しています。

サステナビリティ経営導入の6つのメリット

社会要請への対応や社会課題の解決を積極的に進めることで、顧客との関係強化や事業の差別化等、多くのメリットが期待できます。

01

顧客との関係強化

環境・社会への配慮を進めることで、顧客・取引先からの信用・支持の獲得につながります。

02

コストの抑制

省エネルギー・節水設備の活用など、環境配慮を通じ、販管費を削減できる業種もあります。

03

他社との差別化

環境配慮に取り組む企業はまだ少なく、大手企業との取引を開拓・拡大させるための一つの機会・武器となる可能性も。

04

新たなビジネスの創出

社会課題解決の市場規模は1,200兆円とも言われており、新たな市場・ビジネスを生み出す機会になることも。

05

従業員の確保・維持

採用活動など、人材確保に優位に働くことや、モチベーションの向上や離職率低下が期待できます。

06

資金調達が有利に

サステナ経営を進める企業に対して、金融機関から有利な融資条件を提示される可能性も。

サステナビリティ経営導入で取り組む5つの課題

今後、企業による取り組みが求められる主なテーマとして、気候変動や、資源枯渇等があります。

気候変動



温暖化の急速な進展に伴う、台風等の災害の激甚化

資源枯渇・廃棄物問題



鉱物資源(亜鉛・銅・鉄鉱石)の枯渇やプラスチックによる環境汚染

水質汚濁・水不足



排水による汚染や、水の大量使用による水資源不足

生態系の破壊



2050年には、プラスチックごみの量が魚の量を上回るという予測も

人権問題



労働時間、安全基準等の違反やジェンダー不平等などの人権侵害

具体的な取り組みを知るには

大同生命では、サステナビリティ経営に取り組む企業を応援するため、期間限定プログラム「DAIDO Sustainability Initiative」(ダイドウ・サステナビリティ・イニシアティブ)を開催します。

本プログラムでは、温暖化や気候変動をはじめとする社会課題に関するソリューションのご活用や、協働事例の創出などをサポートします。

※1 出典:「倫理的消費(エシカル消費)に関する消費者意識調査報告書」消費者庁、2020年 ※2 出典:「就活生の企業選びとSDGsに関する調査」ディスコ、2020年